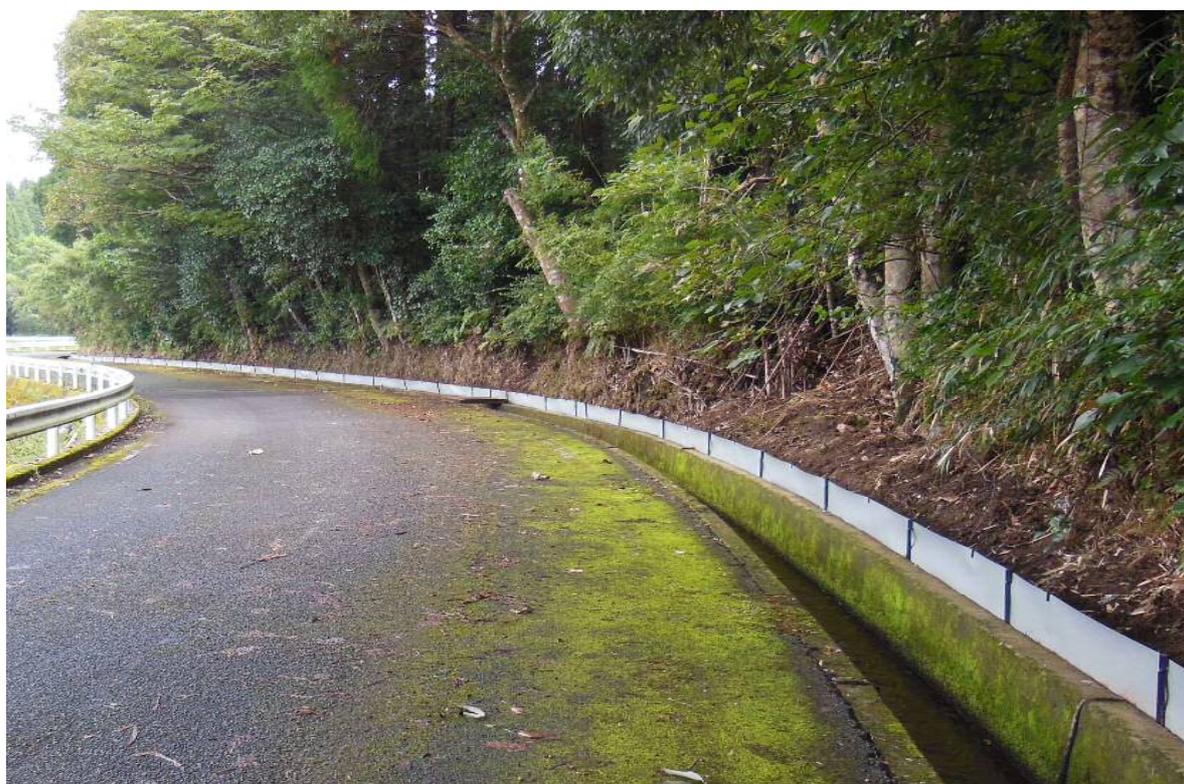


# ヤンバルトサカヤスデ侵入防止対策マニュアル

## ーアゼシートを用いた侵入防止対策ー



平成28年3月  
鹿 児 島 県



# 侵入防止対策

## 1 はじめに

ヤンバルトサカヤステは台湾原産の外来生物ですが、鹿児島県では、奄美地域や南薩地域などを中心に発生しています。農作物や人に害を及ぼすことはありませんが、繁殖力が強く、おびただしい数で集団移動したり、ブロック塀や壁をよじのぼり、家屋の中に侵入したりすることから、強い不快感を与えています。

一方、ヤンバルトサカヤステは平滑な面は移動できないという特徴があります。

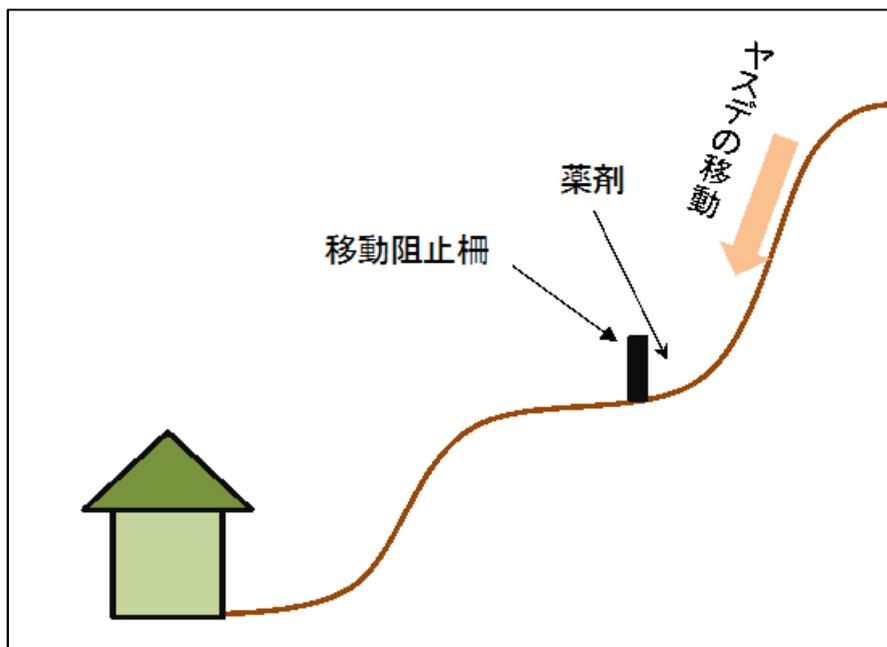
この特徴に着目し、鹿児島県では、鹿児島市、南九州市及び南さつま市の協力をいただきながら、発生地域において表面が滑らかなアゼシートを利用した侵入防止対策の効果を検証しました。その結果、住宅地や家屋への侵入防止対策として有効であるということが確認できましたので、設置方法等を紹介します。

ヤンバルトサカヤステのまん延防止対策の一つとして活用していただければ幸いです。

## 2 設置方法及び維持管理

### ○設置場所

ヤンバルトサカヤステは発生源である林野から住宅地等への移動が見られ、平地では特に指向性はないが、標高の高い地域から低い地域へ移動する傾向がある。このため、アゼシート(移動阻止柵)の設置場所は、山裾等の林野と道路、住宅地との境界部で設置作業が比較的容易な舗装されていない裸地が望ましい。



設置場所模式図

## ○資材の選択

アゼシートは平板状と波板状のものがあるが、平板状のものが設置作業がしやすい。  
杭は特に指定はなく、市販のもので良い。なるべく細い方が挿しやすい。  
100m当たりの資材費は、アゼシートと杭を合わせて2万円程度である。



平板状のアゼシート



波板状のアゼシート

## ○アゼシートの設置

①設置箇所の除草作業を行う。(約 1m 幅)



②アゼシートを設置(固定)する溝切りを行う。

(道路の縁石やU字溝等のコンクリート部分を利用すると倒れにくくなる)



③切った溝にアゼシートをはめ込む。



④アゼシートを固定するため杭を打つ。(間隔は任意)



○駆除剤の散布

アゼシートから生息地側に約 50cm 幅で駆除剤を 20～30g/m<sup>2</sup>散布する。



## ○アゼシートの効果

アゼシートでヤンバルトサカヤスデの移動が阻止され、生息地側で多数の死骸が確認された。



## ○維持管理

駆除剤の効果は2週間程度なので、10～14日間隔で薬剤を散布する。

ヤスデ死骸の除去を定期的を実施する。

除草した部分の草が伸びるとヤスデ死骸の除去作業がやりにくくなるので、除草剤を散布し、雑草管理を行う。草刈り機で除草するとアゼシートを破損するおそれがある。

ヤスデの死骸は定期的な除去が望ましいが、悪臭対策としては、市販されている木酢を散布することで悪臭の発生を抑えることができる。ただし、木酢の防臭効果は一回の散布で3～4日程度である。

## ○ヤスデの死骸の回収方法

<集塵機の比較>

メーカー	A社	B社
風量（集塵）	9m <sup>3</sup> /min （最大風量）	低速 6.5m <sup>3</sup> /min 高速 9m <sup>3</sup> /min
動力源	エンジン式 （自動車用無鉛ガソリン）	電源式 電源（単相・交流 100V 50/60Hz） 電流（10.8A）
重量	4.5kg	3.2kg
寸法（全長×全幅×全高）	350×235×370	905×174×400
価格（税込）	約 5.5 万円	約 1.2 万円
外観		

市販されているエンジン式集塵機(ガソリン燃料使用)によるヤスデの死骸の回収作業事例を示す。

エンジン式の集塵機なので、電源のない場所においても手軽に使用でき、機械自体はさほど重くはなく作業的に負担は少ないことから、自治体が集塵機を整備し、発生地区の自治会に貸し出すなどの活用が考えられる。

<用いた集塵機>



吸入口



エンジン部分

本機はエンジン式の集塵機なので、電源のない場所においても手軽に使用できる。



ファン  
(落ち葉等の細断を兼ねている)

ファンの羽根はプラスチック製だが強く、この部分に落ち葉が当たると細断される。また、水分を含んだ土壌と一緒に吸引すると羽根に土壌がまとわりつくため、作業後はこまめにブラシ等を用いてメンテナンスすることが必要。

<回収状況>



機械自体はさほど重くはなく、作業的に負担は少ない。



機械にファンが付いており、そこに落ち葉等が当たることで細断される。竹の葉は軽く強いため細断出来ていない。

<回収前>



落ち葉等の残渣が集積した状態。  
このような状態で薬剤散布すると、効果が不安定になりかねない。



<回収後>



長めの枝や竹棒等は吸引出来ないが、広葉の落ち葉やヤスデの死骸等は吸引できている。  
吸引後に薬剤を散布することで、より効果的に薬効が発揮できる上、ヤスデの死骸が除去出来るので異臭対策にも役立つ。

**【問合せ先】**

鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課

一般廃棄物係 ☎099-286-2594